

# 法教育推進協議会

平成17年8月24日

## 中学校における法教育の実践資料

筑波大学附属中学校

館 潤 二

月	指 導 項 目	時	学 習 内 容
4	社会科公民的分野の学習 第一章 現代社会を考える	1 10	社会科公民的分野とは、「私の一言」、ノート
5	1 <u>マスコミは中立か</u> 2 今の日本はどんな社会か 3 <u>ルールをつくろう</u> 4 <u>ルールはなぜ必要か</u> 5 <u>ルールが前提としていること</u> <u>は何か</u>	② ④ ② ① ①	② マスコミの光と陰、マスコミの中立性 ④ 情報、経済、国際関係からみた現代日本の特徴 ② 自分たちの地域のルールを作ろう ① ルールは誰が決めて誰が守る、ルールの意義 ① 身近なルール、個人の尊厳、男女の本質的平等
6	第二章 経済とは何だろう (1) 消費活動と経済	24 12	
	1 お金はどこからどこへ 2 もし貨幣がなかったら 3 紙幣なのになぜ価値があるか 4 もし銀行がなくなったら 5 貨幣を売買するとは 5 価格はどのように決まるのか	① ① ② ① ② ②	① 貨幣と商品の流れ、市場、経済主体 ① 物々交換、物品貨幣、鑄造貨幣 ② 貨幣のはたらき、管理通貨制度（発展） ① 銀行のはたらき、日本銀行 ② 円高・円安、変動相場制度（発展） ② 流通、価格の種類としくみ
7	6 ★ <u>公共料金は必要か</u> 7 物価は価格とちがうのか (2) 生産活動と経済	② ① 7	② 市場価格と公共料金、効率と公平 ① 価格とのちがい、インフレ・デフレ
	1 生産に必要なものは何か 2 <u>公企業は必要か</u> 3 株式会社は誰のもの	① ① ②	① 生産の三要素、資本主義経済 ① 私企業（株式会社）、公企業 ② 株、資本、経営者と資本家、株の売買
9	4 独占は良くないことか 5 <u>契約とは何か</u> 6 <u>契約が解消できるときは</u> (3) 財政のはたらき	① ① ①	① 独占禁止と自由競争、公正取引委員会 ① 契約の成立条件、私的自治 ① 不利な条件の下での契約、消費者保護政策
	1 税金は何に使われているのか 2 税金はいつ、誰に払うのか 3 <u>もし税金がなくなったら</u> 4 <u>限られた財源をどのように分</u> <u>配するのか</u>	5 ① ① ① ②	5 税金の使い途、一般会計、特別会計 ① 直接税、間接税、国税、地方税 ① 財政のはたらき、財政の影響 ① 財政赤字、増税・減税、地方の財政と国の財政 ②
10	第三章 日本経済の課題を考える	4	
	1 日本の農業の未来は 2 中小企業の新たな道は 3 少子高齢化対策は 4 <u>経済問題か、政治問題か</u>	① ① ① ①	① 食の国際化、食料自給率、経営の拡大 ① 製造業を支える中小企業、ベンチャービジネス ① 社会保障制度、政府の役割と自己責任 ① 市場と政府の役割
	第四章 政治とは何だろう (1) 民主政治確立までの歩み	22 7	



## 学習指導案

指導者 館 潤二

授業者 田坂 匠



1. 日時 平成17年5月31日(火)第6限、6月3日(金)第3限
  2. 学級 学級 第3学年4組 (男子20名、女子21名)
- 学級観

全体的に活動的であり、男子を中心に発言量も多い。また、一部の生徒は非常に強い好奇心を持っており頻繁に細かな質問を挙げてくる。授業の中で発言させる場面、聞かせる場面、考えさせる場面としっかり区切りをつけることが必要である。

3. (1) 単元名「個人と社会生活」

## (2) 単元の指導計画

第1時限 自らの立場からの提案を考えよう。

第2時限 みんなで話し合っってルールを作ろう。

## (3) 単元の目標

- ① ルール作りに積極的に参加させ、様々な意見や立場の異なる人々の間に対立や紛争が生じた場合、みんなの話し合いによる合意に基づいてルールを作り上げることが大切であることを実感させる。
- ② 正当なルールの条件をもとに、自分たちの作ったルールを評価させることで、ルールの意義を考えさせる。

4. 第1時限の指導

(1) 主題「自らの立場からの提案を考えよう。」

- (2) 目標
- ① グループごとに話し合いに積極的に参加させ、それぞれの立場ごとの提案を考えさせる。
  - ② それぞれの立場のメリット、デメリットを考えさせ、ルール作りのための提案を考えさせる。

## (3) 教材観

生徒はルールをただ単に守らなければならないものであり、自らの行動を制限するものであると考えており、自らの生活を守るためのものであるという認識は希薄である。そこでルールとは、異なる意見や立場持つ人々の中で対立や紛争が起きた時に共に生きていくために必要なものであり、話し合いにおける合意によって作らなければならないものであることを理解させる。

・教科書 『新中学校 公民』(清水書院)

参考文献 ・法教育研究会『はじめての法教育』ぎょうせい 2005年

・Center for Civic Education 著 江口勇治監訳

『テキストブック わたしたちと法』現代人文社 2001年

## 5. 本時の指導

段階	時間	指導内容	学習内容	指導上の留意点
導入	10分	本単の内容の説明 ルールのイメージ	ルールという言葉から連想するものを挙げる。 例) 法律、校則、スポーツなど	板書 「5.個人と社会生活」 「ルールをつくらう」
展開	40分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自らの立場のメリット、デメリットを明らかにしよう。</div> 仮想の村の設定の説明 教育実習生がそれぞれの立場になりきって説明する。  ワークシートの記入方法の説明  グループごとの話し合いの開始 ワークシートの配布とそれへの記入 グループごとに自らの立場にたって以下の内容を考える。 ① メリット、デメリット ② 提案 ③ 他の立場から予想される提案と対策 ④ 提案に優先順位をつけさせる	仮想の村の設定を理解する。   今後の話し合いの進め方をつかむ。  仮想の村の設定をつかみ、この村に球団が来ることでどのようなメリットとデメリットがあるのかを、それぞれのグループで考える。	地域マップを黒板に掲示する。

## 6. 評価

- ①話し合いに積極的に参加できたか。
- ②自らがおかれた立場のメリット、デメリットを考慮したうえで、適切な提案を考えることができたか。

## 学習指導案

指導者 館 潤二

授業者 田坂 匠

1. 日時 平成 17 年 6 月 3 日 (金) 第 3 限

2. 第二時限の指導

(1) 主題 「つくば村の活性化と住みやすさのためのルールを作ろう」

(2) 目標 ①ルールづくりに積極的に参加させ、様々な意見や立場の異なる人々の間に対立や紛争が生じた場合、みんなの話し合いによる合意に基づいてルールを作り上げることの大切さを実感させる。

②正当なルールの条件をもとに、自分たちの作ったルールを評価させることで、ルールの意義を考えさせる。

教科書『新中学校 公民』(清水書院)

参考文献・・○法教育研究会『はじめての法教育』ぎょうせい 2005 年

○Center for Civic Education・著 江口勇治・監訳『テキストブック わたしたちと法』現代人文社 2001 年

	指導内容	学習内容	指導上の留意点
導入	前回の学習内容の確認	前回学習した内容を確認する。	全員が前回のワークシートを準備できているか確認する。
5分	本時の流れの確認  ルール作成の目標 『つくば村の活性化と住みやすさの実現』  ワークシート配布 ルール作りの進め方を理解させる	本時に行う学習活動の概要を理解する。  ルール作りの際の目標を理解する。  ルールを作る際の話し合いの進め方を理解する。	生徒たちの手によるグループごとの活動のため、進め方をしっかりとつかませる。

<p>展開 25分</p>	<p>「つくば村の活性化と住みやすさ」を実現するためのルールを作ろう</p> <p>ルール作りの話し合い</p>	<p>それぞれの立場からの主張を聞き、ワークシートに記録する。</p> <p>司会者を中心に6人で十分に話し合い、ルールを作成する。</p> <p>目標を実現するためのルールを作成しワークシートに記入する。</p>	<p>一度静かにしてから話し合いに入る。</p> <p>机間巡視でそれぞれのグループの進行状況を確認しながら話し合いが進んでいないグループにはアドバイスを与える。</p> <p>全員の意見をよく聞き合意が成立した上で結論を出させる。</p>
<p>15分</p>	<p>みんなで作ったルールを評価しよう</p> <p>4つの観点を用いたルールの評価の仕方を示す。</p> <p>ルール評価の4観点</p> <p>① 誰が読んでも同じように読み取ることが出来るか</p> <p>② 立場が入れ替わっても受け入れられるか</p> <p>③ 目標を達成するために適切か</p> <p>④ 皆で話し合い合意していたか</p> <p>自分たちのグループにおけるルールを4つの観点に基づき評価させる。</p>	<p>ルールを評価するための4観点を理解し、ワークシートに記入する。</p> <p>ゴミは収め</p> <p>ナシ - 変じ</p> <p>4-4 *</p> <p>← 具体的な？</p> <p>自分たちのグループで作ったルールを4つの観点に基づきみんなで評価しその結果をワークシートに記入する。</p>	<p>活動中のグループもあると思われるので一度静かにさせてから説明を開始する。</p>

ま と め 5分	<p>ルールの意義を考えさせる。</p> <p>ルールの意義の説明</p>	<p>本時の学習内容を通し気づいたルールの意義をワークシートに記入する。</p> <p>教師が行うルールの意義の説明を聞く。</p>	<p>記入する際は箇条書きでよい。</p>
-------------------	---------------------------------------	--	-----------------------

## 8. 評価

- ①ルールづくりに積極的に参加し、みんなの話し合いによる合意に基づいて作り上げることが大切であることを実感できたか。
- ②「正しい」ルールを作るための条件をもとに、自ら作ったルールを適切に評価し、ルールの「正しさ」について考えられたか。





**球団オーナー筑波タートルズ 藤田 (33歳)**

プロ野球に新規参入を果たしました。巣鴨に本社を構えています。球団本拠地を選ぶにあたり、今回つくば村の村営球場を買い取らせていただきましたが交通の便もよく、集客力のアル球場であり選手ともども喜んでます。球団経営を通しつくば村の発展につながる地域密着型の球団にしたいと思います。小中学のとき野球をやっており当時の夢はプロ野球選手になることでした。



**村長 青島さん (62歳)**

私はつくば村長を2年間やっています。3ヶ月後に選挙を控えています。県の財政改革に努めてきましたがまだ立て直すには至っていません。今後とも県民のために尽くして生きたいと考えます。



**近隣の主婦 柏木さん (36歳)**

球場付近の新興住宅地に住む二児の母です。球場からは徒歩5分で球場への道沿いに住んでいます。上の子供は野球をやっており、下の子供は中学受験を控えています。私自身読書を趣味といて現在の静かな生活を楽しんでいます。主人は会社勤めで夕食は家族全員で楽しむようにしています。主人の出勤が早いので夜は早く就寝するようにしています。



**商店会長 武井さん (56歳)**

球場近くの商店街の会長をしています。私自身は來來軒という中華料理屋を経営しています。最近商店街の元気がないので何か地元が元気になるようなことがあればいいなと思っています。地元の名産品や目玉商品なんかができればいいですね。



**アマチュア野球連盟理事長 木村さん (67歳)**

私は筑波アマチュア野球連盟の理事長をしています。野球歴50年で甲子園にも出場したことがあります。孫も野球をやっていまして自ら野球の指導もしています。全国で活躍できるチームや選手を地元から輩出したいと思います。最近野球人気は落ち込んでいることが悩みの種です。村営球場は県内で最も設備の整った球場であり、アマチュア野球の試合会場として頻繁に使用しています。

**地元OL 坪井さん (26歳)**

球場までは電車で20分ほどのところに一人暮らししています。球場近くの病院に父親が入院しているので騒音が病室に響くのではないかと心配しています。特に野球には興味を持っていませんでしたが地元の活性化につながればなんとなくうれしいと思います。暇があれば見に行ってもいいかな。これを機にファンになってみようかしら。優勝セールは楽しみです。通勤には球場までの沿線の電車を利用しているので混雑するかもしれないと考えると憂鬱ですね。



# 私たちの村にフットボールチームがやってくる！？

## 自分たちのルールを作ってみよう。

私の立場は( )です。

① つくば市にタートルズがやってくると私は

メリットとして

デメリットとして

- ・
- ・
- ・
- ・

- ・
- ・
- ・

があります。

(メリット、デメリット どちらか片方だけでも O.K.)

② 私の立場としては次回、「タートルズ移転に関する準備小委員会」において

- ・
- ・
- ・
- ・

というルールをつくることを提案します。

③ 次回「タートルズ移転に関する準備小委員会」において、他の 5 人はどのような提案をして与您と考案ますか？

住民

予想される提案

- |      |      |     |     |
|------|------|-----|-----|
| A( ) | さんから | ( ) | ( ) |
| B( ) | さんから | ( ) | ( ) |
| C( ) | さんから | ( ) | ( ) |
| D( ) | さんから | ( ) | ( ) |
| E( ) | さんから | ( ) | ( ) |

それに対してあなたならどのような対処、譲歩をしますか？

(時間が無かったら③はやらなくても O.K.)

3 年 ( ) 組 名前( )



## 【研究授業に対する質疑応答、評価できる点、改善点】

## [質疑応答]

- ① 意見：この授業の目標は、「ルールの基準の明確化」ではなかったか。
- ・生徒たちの話し合いの経験の欠如やルールの意味のはきちがいの現状を考慮するならば、この授業の目標は、あくまで自らが話し合いに参加し、みんなでルールを決めることに目標がある。また、ルールの基準自体をここから導き出すには、もう一時間必要であり、この単元（2時間扱い）では限界がある。
- ② 意見：テーマは球団でよかったか。
- ・テーマに関しては、授業者がそのテーマに関する知識をどれだけ持っているか、あるいはどれだけ調査・研究ができたかにかかってくるのでこれでよかった。
- ③ 意見：「正しいルール」とは何か。「正しさ」ではなく「正当性」ではないか。
- ・中学生にとっての「正しさ」と「正当性」の違いがつかめないだけでなく、そもそも「正しさ」とは正義のことであり、正義には配分的正義、匡正的正義、手続的正義があることを考えるならば、「正当性」とはこのうち手続的正義を意味するのであり、あえて「正しさ」と「正当性」を区別する必要はないのではないか。
- ④ 意見：球団オーナーと村長は、他の構成員とは異なる立場ではないか。
- ・ご指摘の通りであるが、球団オーナーは「地域密着型」の球団づくりをめざしており、村長は3ヶ月後に選挙を控えている状況においては、他の構成員と同等な関係にあると考えた。
- ⑤ 意見：ルールづくりが、対球団オーナーや対村長となってしまう、「みんなで話し合っただけ」ということにはなっていないのではないか。
- ・それを避けるためにも、ルールづくりの目標を、「つくば村の活性化と住みやすさ」とし、あくまで「つくば村」全体の問題であるという設定にしてあった。したがって、二者間だけの話し合いにならないような指導を、もっと教師が強調するべきであった。

## [評価できる点]

- ① 生徒の活動に対する指示が明確であり、生徒の活動の流れがスムーズであった。
- ② ルールの意義を語る際に、その内容を教師が自らのものとしており、話す内容に説得力があった。
- ③ 生徒の発言を引き出しながらそれを生かす授業展開になっていた。

## [改善点]

- ① 「正しいルールはない」という発言が教師からあったが、それを求めるための活動をおこなっているのであり、このような断定は避けるべきである。
- ② 班づくりの段階で、ルール破りが行われているのであり、それは最初に戻させるか、何らかの指導が必要であった。
- ③ 前時のそれぞれの立場の説明が、生徒にとって楽しく、印象深いものであった。

## ☆ 生徒から出たルール具体例

- ・治安強化
- ・球場内での販売（50パーセント商店街、50パーセント球団）
- ・夜10時以降は鳴り物禁止であり騒がず控えめに。
- ・午前中や昼間は一般市民にも球場を貸し出す。
- ・村（役場）の人がごみ拾い・清掃ボランティアを行う。
- ・タートルズのオーナーが警備員を雇う。
- ・商店街の広告を野球場に貼り、お弁当を安く野球場が買い取る。
- ・試合時間は4時半からに。
- ・フェンスに広告、球場内に売店を、シャトルバス運行。
- ・球団側が雇った清掃員、警備員の配置。
- ・9時以降鳴り物禁止。
- ・球場を市民に開放。
- ・二軍とアマチュアが交流試合、空いているときはアマチュアに譲る。
- ・アマチュアがボールボーイに。
- ・球場内に酒の持ち込み禁止。
- ・商店街に防犯カメラの設置。
- ・球場使用時間割をつくる。

☆「ルールを作ろう！」の感想（生徒の言葉を文面全く変えずに打ち出してあります。その為、若干文法におかしなところがありますが、ご了承下さい。）

- ・ 班を作って、みんなでわいわいやってとても楽しかった。ルールというものの存在理由がよく分かった。また、ルールがどのようにして大変な思いをして作られているのか分かったの、これからはしっかりとルールを守るようにしたい。（町田）
- ・ みんなで協力して話し合っ、いろいろなルールが作れてとても楽しかったです！！つくば村のルールだけでなく、ほかのルールも作っていきたいと思います。（後藤）
- ・ ルールを作る時、みんなが自分の利益ばかりを考えていると、意見の対立を招くということが分かりました。みんなが納得するから、ルールは守られ、安心かつ楽しい生活が送れるのだと思いました。（鈴木）
- ・ みんなで話し合っでできて楽しかったです。（辻）
- ・ いろいろな立場の人が全員賛成できるようなルールを作ることは意外と難しいんだなと思った。（石塚）
- ・ みんなで話し合っルールを作るなんてめっちゃめっちゃ楽しかったです。このような授業が増えたら楽しく公民が学べると思いました。（三部）
- ・ 一時間目と二時間目で班のメンバーを変えて意見をぶつけ合うというシステムはとて

も面白かったです！でも、ただ意見をぶつけるだけでなく、「つくば村の活性化と住みやすさ」という目標があったので、お互いのことを考え、かつ自分の利益も考えるということができました。私が思っていたより意見が活発に出て楽しかったです。ルール評価の基準に〇が当てはまるルールを考えるのは難しいけれど、その難しさを知れたこともよかったです。（井上）

- ・ おもしろかったです！！自分は村長の立場だったのですが、最初は「めんどい」と思っていたのですが、討論を始めると自分がなりきってしまったのは良かったです。私たちが普段、何気なく使っているルールでも、こんなに作るのが大変だったなんてびっくりしました。（大竹）
- ・ ルールというものを作る、という今までにない体験ですごく面白かった。自分たちの意見も通したいけれど、周りの人の意見も考えなきゃいけないし、一般の人のことも考えてなきゃいけないし、いろいろ考えてみんなにとってよいルールでなきゃいけない、そういうものを作るのはそこまで難しくはなかったけど、パーフェクトのものは作れなかった。今回うちの班のオーナーの人がよい人だったからよかったけど、実際はもっと厳しいと思う。そう考えると「ルール作り」というものをやるのは大切なことだけど雰囲気がかめたのでよかったと思う。（亀田）
- ・ 話し合う時間が少なかったけど、おもしろかったです。ほかの班でできたルールも知りたいと思いました。ルールを作るという難しさを知りました。（伊藤）
- ・ 自分たちで「ルール」を作ると聞き、「いろんなルールを作ろう！」としていた。けれどもあるテーマに沿ってルールを作るということで、みんなと話し合い、いろいろな意見を出して新たなルール作りを楽しむことができた。（行川）
- ・ 自分たちで村のルールを好きなように決めて設定をするのはとても面白かった。ルールの説明で、自分たちでは十分だと思っけていても、実は足りていなかったりいろいろな意見もあったのがよかった。（野口）
- ・ 討論というのが楽しかった。またやりたい。（大久保）
- ・ ぼくは野球部なので野球に関係のあることだったのでとても楽しかったです。（加藤）
- ・ 学校や社会等でたくさんあるルール（法則等）というのも、ただ作るということではなく、いろいろな条件等を考えて作るということがよく分かりました。また、ただノートに書くというだけでなく、話し合うことで、より分かりやすくなったと思います。（武内）
- ・ とてもよい授業でした。ルールを作るということは普通の生活でも使うことです。また校則もルールなので、校則を考え直すようなことになればいいと思います。（中村）
- ・ 授業を聞くだけよりも、とてもよく分かり面白かったです。みんな意外に(?)真剣で、役になりきっていたので、真実味があり、とても参考になりました。私たちの班はオーナー以外の全員が意見を言って、それらが実現できるかそれとも別の形でするかをオーナーが判決を下すというものだったので、議論をすることができました。（宮川）

- ・ おもしろかった。いろいろな意見が出たしとてもよい学習になった。(森田)
- ・ みんなが納得するようなルールを作るというのはやはり難しいことだと思いました。こうやってクラスの6人の中でもいろいろな利害関係が生じるのだから、実際の生活がかかっていたら大人数だったりしたら、その意見をまとめるのは困難なことだと思いました。今回、私はオーナー役でした。しかし具体的に何にどのくらいお金がかかるのか8例えば、使えるお金はいくらで、看板を出すにはいくらかかって・・・等)や、アマチュア球団はいつ球場を使うのか、デイゲームとナイトゲームの収入の差はあるのか、あるならどのくらいなのか等、具体的な点が分からなかったので、そこがルールを作る上で困りました。(大木)
- ・ 架空の村の上で役割を決めてそれぞれの意見を述べ合う授業は「ルール」というものを身近に感じることでできる面白いものでした。でも、意見を出した上で、それに対してまた反論するというのが大切だと思うのに、私たちの班ではそれができませんでした。それをするためには、それぞれの立場の利害関係も含めた状況をしっかり理解し、本気になってやる必要があったのかなと思います。(北)
- ・ 課題や設定が分かりやすかったので、どんどん意見やアイデアが出て、積極的に取り組めた。5時間目なのに眠くならなかった。いろんな立場の人の意見が聞けて、「なるほどな」と思うことばかりだった。今後に今日学んだことを活かしたい。(京谷)
- ・ と一っつても楽しかったです。私の立場(商店街の武井さん)の意見がすべて採用されてうれしかったです。みんなで話し合ったりするのが討論のようでとても楽しかったし、ルールを決める難しさも知りました。(久保田)
- ・ ディベートみたいでとても面白かった！でも時間が短かったのが残念・・・。(それはしょうがないと思うけど)授業なんだけど普通の授業よりも面白いような今回みたいのをまたやりたいです。(徳永)
- ・ 今までルールというのは最初から決まっているという感じがしていました。特にスポーツではルールはいちいち決めたりしません。だから私は、さきに誰かがルールは決めていて、決まっているという感じでいました。スポーツのルールだって昔誰かが考えたのです。昔ルールを作った人は大変だったと思います。私たちが授業でルールを考えるだけで大変なのですから、今に伝わっているルールを作るのはもっと大変です。スポーツの場合はゲームを作る上でルールもできたのかもしれませんが・・・。この前きちんとした話し合いをしなかった為、あんまりいいルール決めという感じにはなりませんでした。(鳥井)
- ・ 全く考えが対立している人たちの間をとりなすのは両方に少しずつの我慢をしてもらわないといけないということが分かった。ルール作りは難しいということがよく分かった。(早川)
- ・ 難しかったです。ルールを決めるとうれしい人といやな人のふたつが必ず出てくるので、お互いに妥協しながらよりよくしていくのは、話し合っていかななくてはいけなくて大変

でした。(石井)

- ・ グループごとの活動が楽しかったです。坪井さん役だったのですが、坪井さんは電車が込むだけでなんのメリットもなかった気がします。電車で20分なんてそんなに近くじゃないと思います。(皆川)
- ・ みんなでそれぞれの役がある話し合いがおもしろかった。また、僕たちの班ではみんなえルールを作る時、けっこう熱い談義があったのもとてもおもしろかった。(稲垣)
- ・ 班の中でつくば村のルールを好きなように決めて作るのがとてもおもしろかったです。ほかの班のルールを知れればと思います。ルールは曖昧な部分もあったので、考えなおす必要がありました。(赤野)
- ・ 自分たちで実際にルールを作ってみて、ルール作りの難しさを実感しました。公平なルールを作るためには「みんなで話し合い」をすることが必要で、その「話し合い」では自分だけが楽をしようとしてはいけないし、だからといって他の人の提案をすべて受け入れることもできない・・・。(私はオーナー役でした)でも、その「話し合い」をしながら作られた「ルール」によって、それを守ることで、「一人ひとりが大切にされる社会」がつくられていくこともすごく感じました。「ルール」は「社会」が作られるために必要なものなんだな、守らなくてはいけないものだなと思えました！(天宮)
- ・ 市長さんやトップの人(社長とかオーナー)の人たちの会議に出席しているような気分になりました。また自分の主張を通すには、100パーセント通るわけではなく、20パーセントは損をしなくてはいけない部分も出てきます。このようにして、ちょっとは損をする部分も受け入れていかなければならないし、話し合いをスムーズに進行させるためにも、「きちんとした内容」かつ「ユーモアのある」ものがたくさん出ているとよいことが分かりました！そして何よりも普段暮らしている中、「～なルールだから・・・」とか、「ルールは～だからやってもいいんじゃない？」という非常に曖昧なものとしてみてきた「ルール」ですが、裏側ではいろいろな規定に基づいて決められていることが分かりました。とってもおもしろかったです。(藤田)